

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 4 月 30 日 (2020.4.30)

【公開番号】特開 2019-205577 (P2019-205577A)
 【公開日】令和 1 年 12 月 5 日 (2019.12.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-049
 【出願番号】特願 2018-101916 (P2018-101916)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

演出受付が許容される受付演出を発生させる受付演出実行手段と、

前記受付演出において演出受付がなされると、該演出受付に応じた受付後演出を実行する受付後演出実行手段と、

前記受付演出が発生する場合、演出受付が許容される状態になったこと、または演出受付が許容される状態になることを示唆する受付許容音を可聴出力可能な許容音出力手段とを備え、

前記受付演出として、少なくとも第 1 受付演出及び第 2 受付演出が用意されており、

前記第 1 受付演出での演出受付が許容される状態が発生するのに先立って、該第 1 受付演出に対応する受付前演出として第 1 の受付前演出表示が実行可能とされ、

前記第 2 受付演出での演出受付が許容される状態が発生するのに先立って、該第 2 受付演出に対応する受付前演出として第 2 の受付前演出表示が実行可能とされ、

前記第 2 の受付前演出表示は、前記第 1 の受付前演出表示よりも長い時間にわたって実行可能とされており、

前記第 2 の受付前演出表示が実行される場合は、該第 2 の受付前演出表示に対応する前兆演出音が可聴出力され、その後、該前兆演出音とは異なる前記受付許容音が可聴出力されるが、前記第 1 の受付前演出表示が実行される場合は、該第 1 の受付前演出表示に対応する前兆演出音が可聴出力されることがなく前記受付許容音が可聴出力されるようになっており、

さらに、

前記許容音出力手段は、前記受付許容音を第 1 態様で可聴出力する場合と第 2 態様で可聴出力する場合とが少なくともあり、

前記受付演出が発生するときに前記受付許容音が第 1 態様で可聴出力されると、当該受付演出で演出受付がなされなかった場合であっても該演出受付がなされたときと同じ受付後演出が必ず実行されるが、前記受付演出が発生するときに前記受付許容音が第 2 態様で可聴出力されると、該演出受付がなされたときと同じ受付後演出が実行される場合と同じ

受付後演出が実行されない場合との両方がある

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような従来の遊技機では、遊技興趣が低下することが懸念される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段 1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

演出受付が許容される受付演出を発生させる受付演出実行手段と、

前記受付演出において演出受付がなされると、該演出受付に応じた受付後演出を実行する受付後演出実行手段と、

前記受付演出が発生する場合、演出受付が許容される状態になったこと、または演出受付が許容される状態になることを示唆する受付許容音を可聴出力可能な許容音出力手段とを備え、

前記受付演出として、少なくとも第 1 受付演出及び第 2 受付演出が用意されており、

前記第 1 受付演出での演出受付が許容される状態が発生するのに先立って、該第 1 受付演出に対応する受付前演出として第 1 の受付前演出表示が実行可能とされ、

前記第 2 受付演出での演出受付が許容される状態が発生するのに先立って、該第 2 受付演出に対応する受付前演出として第 2 の受付前演出表示が実行可能とされ、

前記第 2 の受付前演出表示は、前記第 1 の受付前演出表示よりも長い時間にわたって実行可能とされており、

前記第 2 の受付前演出表示が実行される場合は、該第 2 の受付前演出表示に対応する前兆演出音が可聴出力され、その後、該前兆演出音とは異なる前記受付許容音が可聴出力されるが、前記第 1 の受付前演出表示が実行される場合は、該第 1 の受付前演出表示に対応する前兆演出音が可聴出力されることなく前記受付許容音が可聴出力されるようになっており、

さらに、

前記許容音出力手段は、前記受付許容音を第 1 態様で可聴出力する場合と第 2 態様で可聴出力する場合とが少なくともあり、

前記受付演出が発生するときに前記受付許容音が第 1 態様で可聴出力されると、当該受付演出で演出受付がなされなかった場合であっても該演出受付がなされたときと同じ受付後演出が必ず実行されるが、前記受付演出が発生するときに前記受付許容音が第 2 態様で可聴出力されると、該演出受付がなされたときと同じ受付後演出が実行される場合と同じ受付後演出が実行されない場合との両方がある

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】